

特集

未来を創る志の教育

私たちが
提案しました

志の教育は、平成19年に初めて開催され、さまざまな出会いを通して、自らの目標に向かって挑戦し続けようとする高い志と社会に貢献しようとする意欲と実践力を育むことを狙っています。

また、子どもたちの府中に対する郷土愛を育むために、府中をより深く知り、自分自身が郷土の未来やまちづくりについての主体的に関われるかを考えます。平成29年度は、中学2年生と義務教育学校8年生の20人が、全3回の学習の中で、府中市のこれからのまちづくりについて考えました。最終回には、自分たちが考えた府中市を活性化させるための提案を府中市議会場で説明し、府中市長をはじめとした市役所の幹部が答弁を行いました。

interview 1

私は2月10日に行われたふちゅう志議会で、府中にもっと笑顔を増やすために、伝統文化で有名な町にしたいと提案しました。その方法として、現在習っている太鼓を活かして笑顔を増やしたいと考えました。

太鼓を始めたいきっかけ

保育所の年中のときに友達に十五鼓乃会と一緒に入ろうと誘われたことがきっかけでした。そのときは、チームも始まってまだ1年

目で、参加している人数も少なく、最初は小さい子ども大人もみんな一緒に練習をしていました。

太鼓の楽しさを伝えたい

太鼓は1つ1つ、打ったときの音が違うんです。もちろん打ち方によっても違います。強く打てば体にどんと響いてくるし、優しく打てば、心も落ち着いてきます。聞いている人に伝わる感じも違うので、太鼓を打っていると、聞く人や見る人が笑顔になって「あつ、楽しさが伝わってる」と感じます。そうやって観



府中学園9年 武田芽粋さん

ふちゅう志議会で「府中市にもっと笑顔をもっと伝統文化で有名な町に～」を提案。学校では、ソフトボールクラブに所属し、生徒会長としても活躍している。生徒会とクラブ、2つの太鼓チームの練習やイベントへの参加など充実した毎日を送っている。

interview 1

武田芽粋さん

伝統文化による祭りの活性化、小・中学生、義務教育学校生による伝統文化の継承



第一中学校

末房佑佳子さん

府中市の職業体験ブースの設置



高橋奈那さん

府中市のアンテナショップで従来の特産品に加え、自分たちで考えた新しい特産品を売る



上下中学校

橋本桜果さん

人口減少を防ぐためにインスタ映えするものを作る



藤岡悟史くん

天満屋の空きスペースに市内10校の行事や、授業内容を展示する



平岡夏葉さん

空き家や空き店舗を活用した、学生が利用できる学習所、誰でも気軽に利用できる休憩所を作る



住岡田莉茄さん

府中市の企業をPRし、市内の会社に就職してもらうことで定住を促す



永久星奈さん

高速道路のサービスエリアを利用し、府中焼きや府中の特産品の魅力を他県の人に広める



interview 2

北尾向日葵さん

DIYの体験を府中市の学生、観光客、市外の人にしてもらう



山崎七桜さん

備後国府を知ってもらうため、備後国府スタンプラリーやVR体験の実施、学生による備後国府ガイド



府中学園

小田彩乃さん

道の駅に足湯を設置し、その近くへ試食コーナーを作る



interview 2

新納叶望さん

空き家で府中を活性化するためシルバー人材センターやボランティアの人に参加してもらってDIYする



松尾音臣くん

学区内の公園の清掃を生徒や住民が行い、子どもから高齢者まで、幅広い世代が利用できる場所にする



小野峻輔くん

スポーツ大会の開催、芝のサッカーグラウンドなどのスポーツ施設の建設、プロ選手の招へい



interview 2

尼子詩織さん

DIYで作ったお店で、府中の特産品を売ったりでき、人が集まるみんなの場の設置



府中明郷学園

佐伯 悠くん

備後国府の歴史を紹介する府中博物館を作り、備後国府の魅力を多くの人に知ってもらう



五弓新也くん

道の駅への期間限定学習スペース設置



皿田詩乃さん

生徒によるポスターの作成やぐるっとパスの範囲拡大で府中のお店を紹介する



interview 2

秋山耕一くん

若い人、外国人に向けて府中市の魅力を伝えるため、駅前でのチラシ配りや、インターネット利用、英語ガイドを擁した外国人観光客ツアーを行う



伝統文化を伝える新しい太鼓のチームを

他県のチームと太鼓の交流をしたこともあり、交流はいろいろな発見が多くて、とても楽しかったです。市内外の新たな仲間とつながりができて、それがどんどん広がり、府中を笑顔にする活動がもっと増えたいと思っています。

客をどんどん巻き込んでいきたいと思っています。そうするとみんなが笑顔になるし、太鼓という伝統文化にも親近感を持ってもらえ、多くの人に魅力を伝えられるようになります。

諷刺社が、諷刺社チームの祭りで演奏をしていますが、まだ始めたばかりなので、他に演奏に呼ばれることが少ないのが残念です。以前に十五鼓乃会で老人ホームへ演奏に行ったことがありますが、そこ



志の教育で印象に残ったこと

市議会の仕組みや文章の作り方を学んだことです。この志の教育で府中市のことを学び、考え、ふちゅう志議会で提案したように、これからも太鼓の活動を通して、伝統文化を伝え、府中市を自慢したくなるまち、笑顔であふれる楽しいまちにしたいと思っています。

VR：仮想現実とも言い、現実にはないものを、あるものとして認識させる技術。DIY：人に頼むのではなく、自分で作ったり、修理したり、装飾したりすること。